

令和7年度 学校経営について

1 校章に込められた教育理念

「けやき」の葉を山の中心部より三方に配置し、山形の山で中央の山を包み、中心に西小の文字をあらわす。「けやき」の三葉は人間形成上かくべからざる「知育」「徳育」「体育」をあらわし、「けやき」のように強くたくましく、山のような重厚と気品、しかも山形の山を山でかこみ、集団としてのまとまりをもとに学習する児童像をあらわす。

三葉の中心部一葉は児童をあらわす。児童をあらわす一葉が山をつきぬけているのは、山をとおりこし偉大な人物になるようにとの意である。

2 学校経営の基本理念

子どもの育ちを真ん中に据えた学校づくり

- ◎ 可能性を信じて「自ら伸ばしていく」
- ◎ 「楽しい」を軽んじない
- ◎ 人生は「完成形」より「成長形」が大事
- ◎ 授業で勝負

3 学校教育目標

(1) 最上位目標

『幸せな社会を創る担い手』が育つ学校 / 自立・共生・創造

(2) 学校教育目標

つながりの中で わたしたちが創る 楽しい学校

4 めざす子ども像

- けんこうでたくましい子ども **体**自分から行動する力——なりたい自分の実現
- やさしく思いやりのある子ども **徳**人を思いやる心——人を思いやる共生社会の実現
- きづき考え学びあう子ども **知**心と体を通して考え抜く力ー主体的・対話的で深い学びの実現

◇つながり……人を思いやる心【共生・理解想像】

「一人一人違う」ことを大前提に、相手を知り、考えを理解し、気持ちを想像することを大事にする。「自分の考えだけでは狭く、限界がある」と自覚し、一人一人のよさや持ち味、違う考えを突き合わせることで、新しいものを生み出すことができるという考え方を共有・育成する。

- ・生徒指導4視点の意識した学級づくり、異学年交流の充実、丁寧な見取りといじめの初期対応

◇わたしたち……自分から行動する力【自立・主体性】

「もっとこうしたい」「こんなふうになれば、きっと多くの人が喜んでくれる」等、自分から気づき、考え、行動することを一層尊重し、子ども達を後押ししていく。自分事として自分から行動するからこそ芽生える「自由と責任」、さらに「やりがいと楽しさ」の経験を大事にする。

- ・なりたい姿と具体的行動、主体的・協働的な運動会の実現、健康的生活習慣の確立

◇創る……心と体を通して考え抜く力【創造・試行錯誤】

子どもが本来もっている「心と体と頭を使って存分に学びたい、挑戦したい」という思いを大事にし、本物に触れ、試行錯誤を繰り返すことを通して、楽しく豊かな学びの実現と充実に努める。

- ・子ども主体の授業づくり、ICTの効果的活用と情報モラルの両立、学年内教科担任制の推進

◇楽しい学校……子どもにとって 職員にとって 保護者にとって 地域にとって

安心して自分の力を発揮して自分からいろいろなことを試したり変えたり創ったりすることや、自分たちで願いや考えを持ち寄って新たな一歩を踏み出すことができる学校は、楽しいにちがいない。一人一人にとって成長できる場、仲間とともに喜び合える場としての学校づくりに努めていく。